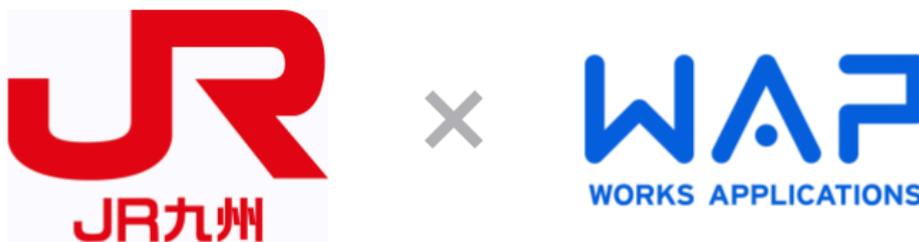


報道関係者各位

2025年5月27日  
株式会社ワークスアプリケーションズ

## JR九州が新リース会計基準対応で「HUE Asset」を採用 既存システムとの連携のしやすさと貸手・サブリース機能を評価

株式会社ワークスアプリケーションズ(本社:東京都千代田区、代表取締役最高経営責任者:秦修、以下WAP)は、九州旅客鉄道株式会社(本社:福岡県福岡市、代表取締役社長執行役員:古宮洋二、以下 JR九州)が、WAPの固定資産・リース管理システム「HUE Asset」の導入を決定したことをお知らせします。JR九州は、HUE Assetを活用し、既存システムとスムーズに連携しつつ、多業種展開による業務への影響が大きい新リース会計基準へ対応します。



### 【採用の背景】多業種展開企業ゆえのリース管理課題

JR九州は、鉄道、不動産、小売など多岐にわたる事業を展開しており、不動産・動産の賃貸借も多く、新リース会計基準の影響を大きく受ける企業です。特に、グループ内での物件の賃貸借契約が多く、サブリース契約の処理変更が課題となっていました。

既存の内製システムにはリース管理機能がなく、基準対応には改修が困難であったため、専用システムの導入を比較検討した結果、HUE Assetの既存システムとの連携のしやすさと、貸手・サブリース機能の標準対応が評価され、導入が決定しました。

### 【期待される効果】貸手・サブリースも標準搭載で、新基準対応の負荷軽減

HUE Assetは、借手機能に加え、グループ全体で多業種展開を行う企業に求められる貸手・サブリース機能を標準で搭載しています。これにより、JR九州における新リース会計基準対応の負担を大幅に軽減します。

また、貸手機能を含めたすべての機能は、無償バージョンアップの範囲内で提供されるため、将来の制度改正にも追加費用なしで対応でき、長期的な運用コストの削減も実現します。

### <九州旅客鉄道株式会社 財務部 財務課主査 足立剛志様からのコメント>

当社は多岐にわたる事業を展開しており、グループ内の賃貸借も多いため、新リース会計基準対応が急務でした。HUE Assetは、必要な機能が標準で備わっており、将来の法改正にも安心して対応できることや、既存システムとスムーズに連携しながら、サブリース処理にも標準で対応できる点などが導入の決め手となりました。

将来的に、固定資産領域でパッケージ製品の活用を検討する際も、HUE Assetの利用範囲を拡大することで、スムーズに対応できるのではないかと期待しています。

## 【HUEについて】

HUEは、日本の大手企業向けに開発された国産ERPで、お客様の声で成長し続けることで、業種や業態を問わず幅広い業務要件に対応しています。6700以上の標準機能を備え、RFPに対するフィット率は97%\*を誇ります。2200社以上で導入された実績が、その信頼性と高い評価を支えています。

\*フィット率97%は当社基準によります

HUE製品ページは[こちら](#)

今回JR九州が採用した、固定資産・リース管理システム「HUE Asset」ページは[こちら](#)

## 【ワークスアプリケーションズについて】

ワークスアプリケーションズは、1996年に日本発のERPパッケージベンダーとして創業。ノーカスタマイズや無償バージョンアップなど革新的なソリューションで、国内大手企業を中心にお客様の成長を支援してきました。個が持つ可能性を信じ、企業と個の価値を最大化する「成長エンジン」となることを目指し、「作業」を「創造」に変え、「仕事」を楽しくすることを追求していきます。

株式会社ワークスアプリケーションズ サイト <https://www.worksap.co.jp/>

\*会社名、製品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。

\*本リリースに掲載された内容は発表日現在のものであり、予告なく変更または撤回される場合があります。また、本リリースに掲載された予測や将来の見通しなどに関する情報は不確実なものであり、実際に生じる結果と異なる場合がありますので、予めご了承ください。

■本件に関するお問い合わせ先

TEL:03-3512-1400 FAX:03-3512-1401 Email:[pr@worksap.co.jp](mailto:pr@worksap.co.jp)

株式会社ワークスアプリケーションズ 広報担当